

平成23年度 事業計画

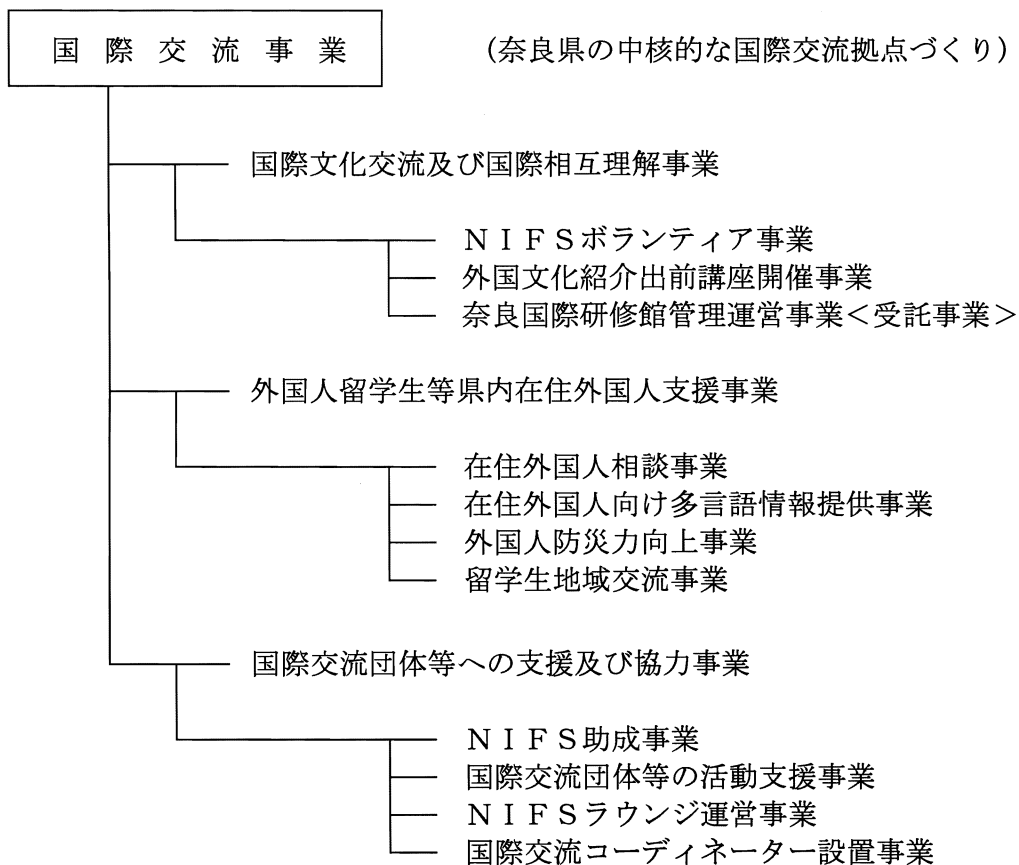
1. 事業の実施方針

「なら・シルクロード博」の成果を生かし、奈良県の中核的な国際交流組織として、世界に開かれた奈良県をめざした各種国際交流事業を幅広く実施する。

在住外国人への多言語による生活相談ときめ細かな暮らしに役立つ生活情報の提供、災害時における防災力の向上のための研修会等の開催、県内留学生と県民との交流機会の提供、さらには県内国際交流団体等への活動支援とネットワーク化、国際交流ボランティア活動の充実等を図り、これらの事業を通して県民の国際文化交流及び国際協力活動を促進するとともに、地域の国際化を推進する。

2. 事業の実施計画

〈平成23年度 事業体系〉



国際交流事業 一奈良県の中核的な国際交流拠点づくりー

国際文化交流及び国際相互理解事業

(1) N I F S ボランティア事業

在住外国人をはじめ様々な文化背景を持つ人々との相互交流・相互理解の促進を目的とした「N I F S ボランティア」（平成19年度創設）を国・地方公共団体や公共的団体等からの依頼に応じて紹介する。また、近畿地域国際化協会連絡協議会（9協会で構成）が大規模災害発生時に外国人支援のため設立する「多言語支援センター」へ要請に応じ派遣する「災害ボランティア（通訳・翻訳）」を養成するため、「通訳・翻訳」の登録ボランティアを対象とするスキルアップ研修を新たに開催する。

- 登録分野 ①通訳・翻訳 ②外国文化紹介 ③日本文化紹介
④ホストファミリー ⑤留学生の里親 ⑥N I F S 事業サポーター
- 登録者数 延べ314名（平成23年3月31日現在）
- 登録期間 平成22年4月1日より平成24年3月31日まで

(2) 外国文化紹介出前講座開催事業

市町村や大学等からの依頼により、国際交流員（C I R）並びにN I F S 登録ボランティア（留学生を含む）を国際交流や多文化理解に関する研修・イベントの講師として派遣し、県民の国際相互理解を促進するための一助とする。

- 派遣者 県及び当財団の国際交流員（アメリカ、カナダ、フランス、中国、韓国）並びにN I F S 登録ボランティア
- 派遣先 市町村研修、大学の講義等
- 内 容 母国と日本の文化比較、母国情勢等

(3) 奈良国際研修館管理運営事業<受託事業>

県が設置した奈良国際研修館の管理運営業務を受託する。

- 研修館の設置目的
外国人が伝統文化等を学ぶことを通して日本文化の理解を深め、併せて外国人と県民が交流できる場を提供する。
(市町村や国際交流団体等が開催する日本語教室、各種研修会等に活用)
- 開館時間
9時～21時（土・日・祝日は17時まで 月曜休館）

外国人留学生等県内在住外国人支援事業

(1) 在住外国人相談事業

在住外国人の自立を促進しながら、言葉や生活習慣の異なる奈良での生活がスムーズにしかも快適に過ごすことができるよう、悩みや問題の解決を図るとともに、多言語での生活全般にわたる幅広い相談業務を行う。

①外国人生活相談窓口の運営

財団内に開設している相談窓口において、相談員が各種相談や情報提供を行う。

- 対応言語 英語・日本語 火～土 9：00～17：00
- ポルトガル語 火・土 9：00～17：00
- 中国語 木・金 9：00～17：00

②外国人のための出前相談会の実施

在留手続きや雇用関係等の問題について、弁護士会や行政書士会等と連携しつつ、総務省奈良行政評価事務所主催「行政なんでも相談会」において、英・中・葡語の相談員による在住外国人のための出前相談会を開催する。

- 開催場所 県内のデパートや公共施設
- 開催回数 年3回

(2) 在住外国人向け多言語情報提供事業

在住外国人にとって身近で役立つ情報を携帯電話を利用した情報サイト及びメール配信により多言語で定期的に発信する。財団ホームページには、市町村別生活ガイドを引き続き作成するとともに、新たに韓国語のサイトを開設し、生活情報の多言語化を図る。

①携帯情報サービス事業

- 発信媒体 携帯サイト及びメール配信
- 配信言語 英語・中国語・ポルトガル語・日本語・やさしいにほんご
- 情報内容 在住外国人が奈良で生活するうえで必要な生活情報、季節ごとの奈良の行事紹介など、奈良での生活を楽しむことができる情報を定期的に提供する。

②ホームページ生活情報多言語化事業

- 発信媒体 財団ホームページ
- 発信言語 英語・中国語・ポルトガル語・韓国語・日本語
- 情報内容 病院、学校や避難所等を盛り込んだ地図やゴミの出し方等を掲載した「市町村別生活ガイド」を市町村との共同で作成するとともに、生活情報の韓国語サイトを新設する。

(3) 外国人防災力向上事業

在住外国人や留学生を対象に防災知識を高めるため、阪神・淡路大震災を記念して設立された「人と未来防災センター」において防災について学び、体験してもらうスタディーツアーを開催するとともに、災害時の在住外国人支援に備え、県・市町村職員、国際交流団体、ボランティア等を対象とした「災害時における外国人支援防災研修会」を開催する。

①「阪神・淡路大震災体験スタディーツアー」の開催

- 対象者 県内在住外国人、留学生
- 内 容 震災の体験談（語り部）、防災・減災体験

②「災害時における外国人支援研修会」の開催

- 対象者 県・市町村防災担当者、国際交流団体、ボランティア等
- 内 容 災害時の外国人支援のあり方についての研修並びにグループワーク

(4) 留学生地域交流事業

県民と県内大学等の留学生との交流活動を促進し、奈良県での充実した留学生活となるよう支援するとともに、県民の多文化共生意識の醸成を図る。

①留学生里親交流プログラム

留学生と里親（NIFSボランティア）をマッチングし、自由に交流しながら何でも相談できる日本の「里親」を持つことにより、奈良での留学生生活をより豊かに過ごせるよう支援する。

②新入留学生日本文化体験スタディーツアー

新入留学生（H23.4～）を対象として、日本（奈良）の文化を紹介し体験してもらうとともに、留学生同士が交流し親しい友人をつくってもらうことにより、充実した留学生活の一助となることを目的にスタディーツアーを開催する。

③留学生夏期ホームステイプログラム

ホストファミリー（NIFSボランティア）宅に家族の一員として留学生を夏期3泊4日程度（8月前期と後期の選択制）受け入れていただき、日常生活を通じてお互いの交流が促進されるよう支援する。

④「留学生&県民交流デイ」開催事業

奈良地域留学生交流推進会議（大学、行政、経済団体、国際交流関係団体等で構成）との共催により、日本文化体験等を通じて留学生と県民が交流するスタディーツアーを開催する。

国際交流団体等への支援及び協力事業

(1) NIFS助成事業

民間団体が行う草の根的な国際交流・国際理解などの事業に対して側面より支援す

るために助成を行う。

○助成額 全体事業費の2分の1以内で15万円を限度

(2) 国際交流団体等の活動支援事業

地域の国際化の担い手となっている民間国際交流団体の活動を支援するとともに、これらの団体との連携・ネットワーク化を図り、地域レベルでの国際交流・協力活動を推進する。

①国際交流団体ネットワーク化事業

地域の国際化の担い手であるNPO・NGO活動の一層の活発化を促すとともに、相互の連携・協力体制を整備するためネットワーク会議を開催する。

②国際交流団体の催事紹介「イベントカレンダー」の発信及び「NIFSねっと」の運用

県内で行われる国際理解や国際交流の催事を県民に紹介する情報を財団ホームページで発信するとともに、「NIFSねっと」登録団体に国際交流団体情報を送信する。

③「奈良県の国際活動団体名簿」の改訂

県内において国際交流や国際協力を目的に活動をしている団体を広く県民に紹介するため、活動団体の情報を財団ホームページに掲載する。

(3) NIFSラウンジ運営事業

在住外国人と県民とのコミュニケーションの場として、また在住外国人と県民への様々な国際交流に関する情報提供の場として、NIFSラウンジを運営する。

○図書、各種新聞（外国語含）、国際交流・国際協力情報誌、インターネット、コピー、ビデオなど設置

(4) 国際交流コーディネーター設置事業

県民の民間的発想や国際的経験を当財団事業に生かすため、熱意とボランティア精神を有し、語学の堪能な県民を「国際交流コーディネーター」として配置し、国際交流・国際理解を推進する各種事業の企画・運営を担当する。

○人員 1名

○勤務条件 週5日

○業務内容 ・県民の国際理解と地域の国際化を進めるための事業の企画・実施
・在住外国人の支援のための日常生活相談と生活情報等の提供
・県内国際交流団体のネットワークを進める事業の企画・実施